

令和2年6月26日

第39回日本糖質学会年会の開催方式の変更について

第39回日本糖質学会年会世話人代表
小川温子、稲津敏行

日頃は日本糖質学会の活動にご支援を頂き篤く御礼申し上げます。

さて、すでにご案内申し上げますように、第39回日本糖質学会年会を、本年11月21日(土)～23日(月・祝)にお茶の水女子大学において開催するため準備を進めて参りました。しかしながら、新型コロナウイルスの蔓延がパンデミックを引き起こし、今や延期された来年のオリンピック開催さえ危ぶむ声も聞こえております。また、国内の大学や研究機関では、遠隔授業の実施や業務の縮小などの対応が図られており、通常の研究活動とはほど遠い状況が続いております。

このような状況下で、本年会を開催することが可能かどうか、世話人会と日本糖質学会理事会で慎重に検討した結果、年会参加者皆様の安全を確保しながら確実に開催することは難しく、通常開催を断念せざるを得ないとの結論に至り、本年会を誌上開催のみで実施することと致しました。誌上開催の概要は下記となります。書式、申し込み方法など詳細は、学会ホームページにて周知の予定です。

皆様には状況をご賢察頂き、開催方式の変更にご理解を賜りますようお願い申し上げますとともに、日本糖質学会の活動に引き続き変わらぬご支援を御願い申し上げます。

記

第39回日本糖質学会年会(誌上発表形式)概要

- 演題要旨：A4版1枚(会員1名につき、1件のみ登録可)
- 参加登録費：1演題あたり1000円
- 要旨集：会員全員に送付、11月21日発行予定

以上